

## 令和7年度 地域連携推進会議議事録(障害者支援施設あさひが丘)

日 時：令和7年11月12日（水）14：00～15：30

場 所：障害者支援施設あさひが丘

出席者：8名

【 利 用 者 】 社会福祉法人落穂会 障害者支援施設あさひが丘 ご利用者

【 利用者家族 】 あさひが丘学園家族会 会長

【 地域の関係者 】 春山町内会 会長

【福祉に知見のある方】社会福祉法人正和会 副理事長

- ・社会福祉法人落穂会 理事長 水流純大
- ・社会福祉法人落穂会 日中活動支援課長 井上杏奈
- ・社会福祉法人落穂会 成人部支援課長 山下直人
- ・社会福祉法人落穂会 成人部1寮サブチーフ支援員 田中直樹

### 1. 主催者挨拶 (水流理事長)

- ・開催の挨拶および地域連携推進会議の目的の説明。

### 2. 出席者の紹介

### 3. グループホームの概要説明 (山下課長)

- ・利用者情報
- ・サービス内容
- ・支援体制
- ・地域移行

### 4. ご利用者の紹介

- ・ご利用者の説明
- ・生活状況についての質疑応答を実施（別紙参照）

### 5. 質疑応答・意見交換（別紙参照）

### 6. 入所施設視察

- ・ご利用者の居室や生活空間の説明。
- ・生活介護サービスの説明。

## 《ご利用者への質疑応答》

○今生活しているお部屋は過ごしやすいですか？

●ご利用者：お部屋はテレビがあって、テレビを聞くのが楽しい。※視覚障害あり

○お風呂の時間は好きですか？

●ご利用者：お風呂は好き。

○毎日の食事はどうですか？

●ご利用者：おいしい。

○好きな料理はありますか？

●ご利用者：鶏肉が好き。

○日中活動は、どんな活動をしていますか？

●ご利用者：棟内歩行、5科体操。

○活動が休みの日は、外出しますか？

●ご利用者：する。来週土曜は、ぱーそん。

※「ぱーそん」とは、ご利用者の希望に合わせた個別外出の事。

○どんなところに行きますか？

●ご利用者：来週土曜日、昼ごはんは定食屋さん。

○今の生活はどうですか？

●ご利用者：楽しい。

○職員に何かしてほしい事はありますか？

●ご利用者：今日はジュースの日だから、大きい甘いコーヒーが飲みたい。

## 《質疑応答・意見交換》

○家族会会長：現在、入院中の利用者の方に職員は付き添っていますか？

●山下課長：病院の体制や利用者の方の状態によって付き添い対応を行うこともあります、現在入院している方については、職員の入院付き添いはなく、病院でのケアになっています。

●水流理事長：高齢な利用者で、学園生活での食事生活が難しくなり、医療的ケアが必要となり、入院となっています。今後の事は、病院のソーシャルワーカーとともに十分なケアができる生活の場を検討していきます。現在の入所者は、平均年齢40前半でまだ若いですが、中には高齢の方もいますので、高齢者特有のケアが今後必要になっていきます。

○春山町内会会長：入所されている方への面会はいつでもできますか？

●山下課長：はい、いつでも大丈夫です。ただ、通院やご本人が楽しみにされている外出の予定等もありますので、事前に連絡をいただきて、日程や時間を調整しています。

○春山町内会会長：入所の方は、夏休みなどの長期休みはありますか？

●山下課長：夏休み期間などの長期休みを設けてその間自宅で過ごしてもらうということはありません。ご家族の希望により、週末などをを利用して帰省される方はいます。

●水流理事長：年末年始やお盆の時期に帰省される方はいらっしゃいます。ただ、あまり多くはないです。

●山下課長：自宅に帰省される方もやはり年々少なくなってきた状況があります。

●水流理事長：入所者の高齢化に伴い、ご両親も高齢化していくと、中々自宅に連れて帰ることが難しくなっていく状況があります。ですので、今後は、利用者のご兄弟の方とのつながりを持つことも大切だと考えています。家族会会長とも意見交換しながら「きょうだい会」をつくり、兄弟同士のネットワークも作っていき、相談し合ったり助け合ったりできる関係づくりにつなげていく取り組みも行っています。兄弟の世代に親の思いを伝えていくことも大切だと考えています。

●山下課長：入所の方でご両親が亡くなり、ご兄弟にご協力をいただいている方も数名いらっしゃいます。

○正和会副理事長：私の施設の方も入所の方の平均年齢が50代中盤になり、年末年始の帰省も減少してきました。先ほど話のあった「きょうだい会」は私どもも検討したいと思いました。

○家族会会长：私自身も年を重ね、入所当初は月1回の帰省を行ってきましたが、段々回数は減っていきました。会いには行きたいですが、自宅に連れて帰ると段々と大変になってきます。

●山下課長：保護者の方で、迎えに行くのが難しくなったとの話があり、個別外出の機会を利用して職員引率の元ご自宅近くで一緒に食事をする機会を設けたところ、大変喜ばれました。今後もご家族とのつながりは大切にしていきたいです。

○春山町内会会长：先日、食事した際に家族と職員と思われる方がいて、そのような食事場面を見かけました。このようなケアの仕方もあるのだと感じたところででした。施設生活の中で気分転換になる良い機会だと思います。

○正和会副理事長：休日の職員配置は何名くらいですか？ドライブなどの外出の機会はありますか？

●山下課長：休日の日中は、各棟3名～4名います。マイクロバスがありますので、休日に皆さんで出かけることもあります。先日は、コスモスを見に出かけました。

●水流理事長：40名近くいますので、毎週どこかに出かけるというわけにはいかないですが、外に出かけるということは楽しみの機会ですので、なるべく公平に全員にそのような機会を提供できるように支援しています。外出の機会では、「ぱーそん」という個別外出の機会も設けています。利用者の方と普段支援している支援員が個別に引率して、それぞれの行きたい場所に出かけています。

○正和会副理事長：普段支援している方が外出する際も支援してくれると安心して出かけられると思います。旅行は勤務で行かれていますか？

●山下課長：旅行については、勤務として出かけています。旅行で出かける時も個別外出の時もそうですが、利用者の方のリフレッシュできる機会となることに加え、施設内では中々見られない利用者の表情や反応が見られ、また、会話も弾むので、とても大切な時間です。

●田中サブチーフ：普段日課スケジュールが概ね決まっている中、個別外出は日課以外でそれぞれの意向に沿いながら過ごす時間なので、皆さんとても好まれています。

●水流理事長：個別外出の中で、何度か同じお店を利用すると覚えてくださることもあります。温泉施設でよく利用する場所があり、すごく親切に対応してくれています。このようなことも、社会に出て経験できることですし、地域の方にも彼らを知つてもらえて、関わる機会としてとても大切だと思います。

○家族会会长：地域移行の話がありましたが、今後、入所施設は少なくなっていますか？

●水流理事長：地域移行への流れについて、地域で生活することが望ましい方はいます。しかし、施設での生活でなければ難しく、手厚い支援が必要な方もいます。最低

限の必要な定員は確保して手厚くケアを行い、可能な方は地域で生活し、地域の皆さんと交流しながら生活していければ一番良いと思います。現在、当法人のグループホームで生活している利用者の方も棒踊りなどの地域の行事に参加させてもらい、関わりが深くなっているので大変ありがたいと思っています。

○春山町内会会长：ここで現在生活されている方は、グループホームでの生活は難しいですか？

●水流理事長：重度の方は多くいらっしゃいます。ただ、今回、女性利用者の方は皆さん、12月にグループホームに移行されます。私たちは、障害が重くても支援者の支援力があれば地域で生活できる方は多くいると思っています。今回のグループホームに移行される方は、現在入所施設で支援している支援員も一緒に行きますので、彼女たちをよく理解している支援員が今後も支援ていきます。利用者の方も安心して生活できると考えています。

○家族会会长：将来的には、地域の企業で働く機会も出てくると良いですね。

●水流理事長：そうなると良いですね。当法人で行っている秋まつりも近隣企業の方とのつながる機会として良い機会になっています。ご協力をいただいていることも多くあり、大変助かっています。町内会の皆さんにも大変お世話になっております。3月には、町内会と一緒に行事を行う予定です。今後も地域とのつながりを大切にしていきたいです。